

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	昼光シミュレーション小委員会	主 査 名：鈴木広隆 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：加藤信介 主 査 名：井上容子
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>精度の高い昼光シミュレーションの実現、建築デザインへの新たなきっかけ(昼光による積極的な空間演出等)の提供、これまでに開発された昼光シミュレーションツールの普及促進、昼光に関する取得データの較正、昼光に関する統一フォーマットによるデータの整理、処理。</p> <p>1 これまでの成果の整理と公表。 2 2006 年度の講習会の開催に向けた委員間の役割分担。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無し</p> <p>鈴木広隆(主査)(大阪市立大学)、松澤朋子(幹事)(九州共立大学)、吉澤望(幹事)(東京理科大学)、井川憲男(大阪市立大学)、上谷芳昭(京都大学)、梅宮典子(大阪市立大学)、大井尚行(九州大学)、古賀靖子(九州大学)、中村芳樹(東京工業大学)、原直也(関西大学)、三木保弘(国土交通省)、吉田貢(鹿島建設(株))</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>1 昼光光源 WG(昼光に関する取得データの較正、昼光に関する統一フォーマットによるデータの整理、処理。)</p> <p>2 昼光シミュレーション開発・普及・評価 WG(精度の高い昼光シミュレーションの実現、建築デザインへの新たなきっかけ(昼光による積極的な空間演出等)の提供、これまでに開発された昼光シミュレーションツールの普及促進。)</p>	
2005 年度予算	48,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://graphics.arch.eng.osaka-cu.ac.jp/daylight/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	1 . オーガナイズドセッション(昼光利用研究(天空モデル、シミュレーション、導入デバイス、制御他)) 参加者数 約 100 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	小委員会の活動に関連する学会発表は、英文 1 件、和文 3 件。タイトル他については、上記ホームページ参照。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 . 100% (学会等などを通じて成果の公表を行うことが出来た) 2 . 70% (全員の参加を得た小委員会を開催し、役割分担を行うことが出来なかった)
委員会活動の問題点・課題	1 . 委員全員が集まって議論を行うことが困難であり、スムーズな意思決定を行うことが難しい。 2 . 開発されたツールなどは、実際に開発者が委員の前でデモンストレーションを行う必要があるが、機会を設けることが難しい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。